

記事作成編①

はじめに

【推奨環境】

このレポート上に書かれている URL はクリックできます。できない場合は最新の AdobeReader をダウンロードしてください。(無料)

<http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep2.html>

■ 著作権について

「ひで組 PREMIUM」(以下、本冊子と表記)は、著作権法で保護されている著作物です。

本冊子の著作権は、発行者(ヒデズギルド)にあります。

本冊子の使用に関しましては、以下の点にご注意ください。

■ 使用許諾契約書

本契約は、本冊子を入手した個人・法人(以下、甲と称す)と発行者(以下、乙と称す)との間で合意した契約です。本冊子を甲が受け取り開封することにより、甲はこの契約に同意したことになります。

第1条 本契約の目的：

乙が著作権を有する本冊子に含まれる情報を、本契約に基づき甲が非独占的に使用する権利を承諾するものです。

第2条 禁止事項：

本冊子に含まれる情報は、著作権法によって保護されています。甲は本冊子から得た情報を、乙の書面による事前許可を得ずして出版・講演活動および電子メディアによる配信等により一般公開することを禁じます。特に当ファイルを第三者に渡すことは厳しく禁じます。甲は、自らの事業、所属する会社および関連組織におい

てのみ本冊子に含まれる情報を使用できるものとします。

第3条 損害賠償：

甲が本契約の第2条に違反し、乙に損害が生じた場合、甲は乙に対し、違約金が発生する場合がございますのでご注意ください。

第4条 契約の解除：

甲が本契約に違反したと乙が判断した場合には、乙は使用許諾契約書を解除することができるものとします。

第5条 責任の範囲：

本冊子の情報の使用の一切の責任は甲にあり、この情報を使って損害が生じたとしても一切の責任を負いません。

もくじ

 第1章：情報サイトで稼ぐ為の記事作成編	5
(1) 手段と目的.....	5
(2) 仕込み記事の手段と目的.....	7
 第2章：ターゲティング	9
(1) まず「結論」ありき.....	9
(2) 何の為の結論なのか？.....	9

【更新履歴】

2011/07/05 作成
2011/09/10 資料タイトル変更、テキスト一部修正
2014/02/01 テキスト一部修正
2016/03/01 テキスト一部修正

第1章:情報サイトで稼ぐ為の記事作成編

ここまでのカリキュラムを消化してくださった方にとっては、「情報サイト編」で実践していただく各項目について、少なくとも「作業レベル」においてはすでに問題は無いはずです。

本資料では、そういった作業レベルでの解説は省略し、多くのアフィリエイターの前に一度は「壁」として立ちはだかる「記事作成」。これについていくつかお話してみたいと思います。

記事作成と一口に言っても、さまざまなアプローチがあるかと思います。

ここでは特に「情報サイトで稼ぐ為の記事作成法」ということでお話します。まずは各自で「情報サイト」とはどのようなサイトであったかを再度確認しておいてください。

(1)手段と目的

多くの方はすでに「仕込み記事」の作成と投稿は終わられていることと思います。これからはいよいよ「情報発信のため」の記事作成に取り掛かろうとされている所なのではないでしょうか？

が、その前に一度確認していただきたいことがあります。

それはあなたにとっての「情報サイト」の「手段と目的」。これをここでもう一度、明確にしておいていただきたいのです。

今ここでの再確認は本当に大切です。

なぜなら、思いのほか多くのアフィリエイターがこの「手段」と「目的」を混同してしまい、結果、自身の成果から遠ざかってしまっているという現実があるからです。

これから少しばかり考えてみましょう。

あなたが「情報サイト」を作成するのは何のためですか？

情報発信のため？ 情報提供のため？

確かにそうかもしれませんね。

ですが、間違って欲しくないのは、それはあなたがここで「情報サイト」を作成する「目的」では無い、ということ。

「情報発信」「情報提供」というのはあくまでも「情報サイト」を作成する本来の「目的」。これを達成する為の「手段」なんだ、ということです。

それでは「情報サイト」の本来の目的はなんでしょう？ 当然、「アフィリエイトの成果」ですよ。

情報サイトの手段と目的

手段：情報発信・情報提供

目的：アフィリエイト成果

「情報サイト」では情報発信という手段を通して、「アフィリエイトで成果を挙げる」という目的を達成します。

ですが、多くの方はいつしかの「情報発信という手段」が「目的」になってしまい、結果、いつまでたっても成果の挙がらないサイトを作り続ける羽目になってしまうのです。

成果を挙げる為には「情報発信」は必要です。ですが、「成果につながらない情報発信」には意味がない、ということです。その「情報発信という手段」が「目的」となってしまわない様、十分に注意しながら毎日の記事作成に取り組める様にしてください。

良い情報を発信すれば成果が挙がるものではありません。

(2)仕込み記事の手段と目的

それでは今度は、今まで取り組んでいた「仕込み記事」の手段と目的はどのようなものなのか。こちらも少しだけ考えてみましょう。

「仕込み記事」の最初の目的は「検索エンジンにその存在を認識してもらうこと」になります。そして、その目的を果たしたあとには更に以下の様な重要な目的が控えています。

仕込み記事の手段と目的

手段：アクセス収集・キーワード収集

目的：訪問者さんの声を聞く・検証作業

仕込み記事では「情報発信」のための記事ではなく、「アクセス収集」および「キーワード収集」を行う為の記事を作成していきます。そのためにはターゲットとしてのキーワードを明確にした記事をスピーディーに展開していく必要があります。

ただし、「アクセス」や「キーワード」が集まるのをただ見ているだけではだめですよ。なぜなら、これは「目的」ではなく単なる「手段」なのですから。「アクセス」だけが集まっても意味は無いのです。

必ず、その「アクセス」や「キーワード」をこのあとの「記事作成」に活かせる様にしていってください。

第2章：ターゲティング

(1) まず「結論」ありき

「情報サイト」用の記事作成を行う際には「まず結論ありき」、これを頭に入れて作業を進めていただければ、と思います。

なぜ、「結論」なのかは大丈夫ですね。

あなたのサイトにやってくる訪問者さんというのは何かしらの「答え」、つまりはあなたのその記事の「結論」を求めているわけです。ですから、記事を作成する私たちとしてはまずはその「結論」に焦点を当て、そこから記事を広げていく、といったスタンスが求められるはずです。

先日みなさんに提出していただいた「設計図」ですが、ここでは全ての記事に対して最初に「概要&結論」を書いていただきました。それは記事の作成を始める前にこの「結論」というものにしっかりとアンテナを立てておいていただきたかった、ということです。

(2) 何の為の結論なのか？

ただし、ここで忘れてほしくないことがあります。

それは「何の為の結論なのか？」ということ。

訪問者さんに「情報」としての「結論」を提供するのはあくまでも私たちにとっては「手段」にすぎません。その記事を作成する「目的」というのは「アフィリエイトの成果」です。

これはもう大丈夫ですね。

つまりは、如何にしっかりと「情報発信」を行えたとしても、その結果として「成果」へとつながらなければ、その「結論」には意味は無い、ということです。

すでにお話している様にこの「情報サイト」の初期段階ではオファー型のアフィリエイトは行いません。あくまでも、「スペース型」のアフィリエイトからスタートです。商品を「お薦め」することなく「成約」を実現する。その為には「アフィリエイト成果にしっかりと向かう結論」というのが非常に大切になってくるのです。

そこで必要になってくるのは「広告との整合性」です。

今回、ある「ダイエット系の商品」を広告として取り扱ったとしましょう。一口にダイエットといってもその方法はさまざまだと思います。また、「ダイエットを求める人」も、その方法同様にさまざまな人がいるでしょう。

たとえば、食事の組み合わせを工夫することで、特別な食事制限や運動等無で無理なくやせるダイエット。そういった方法を提示するダイエット商品を広告に選んだとしましょう。

にもかかわらず、あなたのその記事の結論が「ダイエット成功のためにはしっかりと自分をコントロールし、日々ハードな運動にチャレンジするべきだ」といったものだとしたらどうでしょうか？

この結論は明らかに広告とはズレているのがわかります。また、その「広告」

の提供者（広告主様）が求めている「見込客様」とあなたの記事が対象として
いる「訪問者さん」との間にも明らかなズレがあるのもわかると思います。

広告主様が望んでいるのはあくまでも「無理なくやせる方法」を望んでいる人
達です。にもかかわらず、あなたの記事の結論では「ハードなダイエットに取り
組むことに共感する人」を対象としてしまっているのです。

これでは期待する様な成果は見込めません。

上記の場合ですと、望ましい記事の結論の例は

「ハードなダイエットは確かに効果が見込める。」
⇒「でも、多くの方は途中で挫折してしまう」
⇒「無理なく続けることが出来る方法を選択することが大切なのでは？」

といった形のものになるのでは、と思います。

そして、この記事の結論に「共感」した訪問者さんがその先にある「広告」の
ページを目にしたら・・・、ということですね。

あなたが記事を書き始める前にやるべきこと。

それはしっかりと「広告ページ」を読み込んでやることです。そして、その「広
告主様」は一体、見込み客として「誰」を求めているのか？ それをしっかりと
把握してやることです。

物事の「結論」には多くのバリエーションがあるはずです。あなたのサイトに
やってくるのは「たった一人の人」ではありません。これから「数多くの人」

があなたのサイトにやってくるでしょう。当然、そこで求められる「結論」にも様々なものがあるでしょう。

では、そこであなたは「誰に対して記事を書くのか？」ということです。

ここでそのすべての人達に向けて記事を書き続けようとする、いずれあなたは身動きが取れなくなるでしょう。訪問者さんたちにとっても、どこにでもある様な当たり障りのない「伝わってこない」記事にしかありません。

ですから、ここで私たちは「誰に対して記事を書くのか？」。その多くの訪問者さんの中から誰かを選んであげる必要があるのです。

それは「アフィリエイトの成果につながる人」に対して、のはずですよね？
つまり「広告主様」が求めている「人」。

あなたはまず、その「広告」が何を提示しているのかをしっかりと把握してください。そして、その「広告主様」が求めている「人」が「誰」なのか。これを同時に明確にしておく必要があるのです。

そして、その「ターゲット」に対して、そのターゲットが「共感」出来る様な「結論」を数多くの結論の中から 1つだけ選びだしそこに用意してあげる。

それがこの「情報サイト」で成果を挙げる為のたった一つの「記事の書き方」なのです。

あなたはその記事に「誰」を呼び「何処」に流すのか？ これをあらかじめは

っきりとさせておく必要があるのです。

本当ならこれが「設計図」で書くべき、「記事の概要」ということになるのですね。

まずはしっかりと

「そんな結論」ありき

で記事作成を行える様にしてください。

発行者情報

発行者 ヒデズギルド 枚田英俊

連絡先メールアドレス hidesguild@gmail.com

サービス名 『ひで組 PREMIUM』第1期

ホームページ: <http://hidesdream.xsrv.jp/premium/>

特商法表記 : <http://hidesdream.xsrv.jp/premium/tokusho.html>

プライバシー : <http://hidesdream.xsrv.jp/premium/privacy.html>

共に戦うプロ集団を作しましょう！